

エントリーする団体名の名称 みずとみどり研究会	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 みずとみどり研究会事務局長 佐山公一
代表者氏名 星野 義延	TEL : 042-327-3169 E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 企業・団体等広報 部門	事例名 身近な水環境の全国一斉調査など市民活動を通した下水道広報
--------------------	-------------------------------------

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

■環境保全等に関わる市民活動団体からの発信

河川や湖沼など水辺の水質や景観などについて自然環境保全を目的とする市民団体は全国に数多くあり、近年その様な市民の活動や行政の取り組みで水環境が改善されてきています。その中に下水道普及率の向上による水質の改善があります。

河川等の環境保全を行なう市民団体には河川行政との意見交換を密に行なってきましたが、下水道関連との連携についてはまだまだ十分ではありませんでした。そこで我々水環境保全を目的とする市民団体が下水道について学ぶことにより次世代にさらによりよい水辺を残すための取り組みを行ないます。

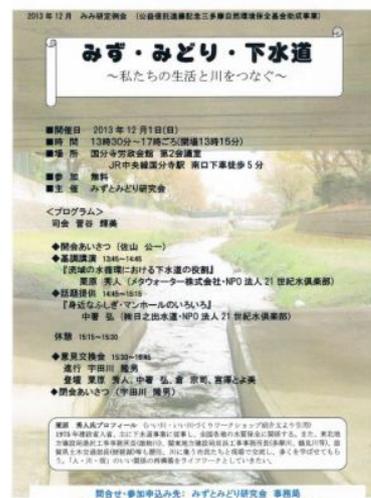


■身近な水環境の全国一斉調査での下水道との連携

市民による河川など水環境の全国一斉水質調査が2004年から実施され、2013年で10年が経過しました。10年間でのべ71,000人以上の市民が参加している調査で、47都道府県全てで行われており、石垣島や西表島などからも参加しています。

子どもから高齢者と広い年齢層、一般市民や学校関係、行政関係、企業など様々なジャンルの方が参加をしています。全国各地の水辺に関心のある方々に対し下水道についての重要性や必要性を再認識してもらいます。

ホームページ <http://www.japan-mizumap.org/>



■地域での取り組み

みずとみどり研究会の主催で多摩地域の一般市民も参加可能な下水道セミナーの開催。都市部での水循環を考える上での下水道の役割などを学びました。

エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

身近な水環境の全国一斉調査では、全国各地の水環境に関心のある市民へ直接的に広報することができ、また地域では自分たちの住んでいる地域の水事情を理解し、日々の生活との繋がりがから下水道への負担軽減の取り組み、さらに河川等の環境保全活動へ役立てられます。